

第3学年4組 英語科学習指導案

北九州市立浅川中学校
指導者 主幹教諭 波多野 皓一
ALT Ceara Hays

研究主題

多様なグローバル社会の中で積極的にコミュニケーションを図り、
自分の考えや気持ちなどを即興的に英語で表現できる生徒の育成
～正確性を高めるためのパフォーマンス課題とアウトプットの指導を通して～

1. 単元名 Unit 6 The Chorus Contest (*Here We Go! English Course 3*)

2. 指導に当たって

これまで本校では、「自分の考えや気持ちを即興的に表現できる生徒」を育成するために、2つのことに取り組んできた。

まず、「1分間チャット」や「個人スピーチ」といった帯活動である。「相づち」、「問い返し」や「関連質問」が内容の伝え合いのためには欠かせないと考え、帯活動や言語活動の中にこの3つの要素を繰り返し取り入れ、指導に当たってきた。

次に、言語活動の中での適切な「目的・場面・状況」の設定である。生徒が伝えたい、表現したいと思えるような場면을単元ごとに設定し、既習の言語材料でアウトプットする活動を多く行ってきた。

やり取りの際には、「言語面」の指導のみにとどまらず、「内容面」に焦点を当て、言語活動から指導、そしてさらなる言語活動という流れを全学年で共有している。また、中間指導では、生徒が表現したいができない表現を学級全体で共有しながら、既習の言語材料でパラフレーズ(言い換え)し、自分の言葉で考えや気持ちを伝え合うことを目指して、言語活動に取り組んでいる。

本単元は、分詞の後置修飾、間接疑問文を扱う単元である。1年間共に過ごしてきたALTのマイク先生が帰国することから、単元のゴールを誰に何のために伝えるのかという相手意識をもたせるため、帰国したマイク先生からのビデオメッセージに答えることとし、次の単元 (Unit 7 Tina's Speech) へとつながりをもたせている。本時では、その前段階としてこれまでにお世話になったALTのダニエル先生とカイル先生の興味や質問に合わせて、アドバイスやおすそめをするという場面を設け、ALTの先生に向けて伝えるという相手意識をもたせながら、自らの考えを伝えたいという気持ちを高められるような手だてをとった。

3. 本単元における主体的・対話的で深い学び、学習評価の工夫

○ 主体的・対話的で深い学びの工夫について

本時では、前述のように適切な「目的・場面・状況」の設定の中で、相手意識をもたせながら意見交流を行う。やり取りを行う際には、既習の言語材料の使用にとどまらず、相づち、問い返し、関連質問等を通じて、意見交流を行う。「もっと聞きたい」、「質問したい」という傾聴の姿勢は、主体的・対話的で深い学びへとつながり、それらはコミュニケーションの根幹となるものである。

○ 学習評価の工夫について

学習評価については、既習の言語材料などを用いながら、間違いを恐れず粘り強く自らの考えや気持ちを表現しているか、「内容面」と「言語面」の双方から見取る。本時では、1分間チャットや個人スピーチの途中で言えなかった表現などを机間指導しながら、汎用性の高い表現や生徒の伝えたい内容を拾い、即時のフィードバックを行う。ただし、本時で生徒一人ひとりを見取することはせず、ライティングや単元末のパフォーマンステストを通じて、また振り返りの記述を見取りながらきめ細かな学習評価を行う。

4. 単元の目標と評価規準

【目標】

- 日常的な話題や社会的な話題について、間違えを恐れずに自分の考えや気持ちを伝えることができる。
- 相手の意向を汲み取り、聞いたり読んだりしたことについて理解し、自分の考えや気持ちを伝えることができる。
- 相手の興味・関心や意向に合わせて、適切に自分の考えや気持ちを伝えることができる。

【評価規準】

- 日常的な話題や社会的な話題について、間違えを恐れずに自分の考えや気持ちを伝えている。
- 相手の意向を汲み取り、聞いたり読んだりしたことについて理解し、自分の考えや気持ちを伝えている。
- 相手の興味・関心や意向に合わせて、適切に自分の考えや気持ちを伝えている。

5. 指導と評価の計画（総時数8時間）

時数	ねらい (■), 言語活動 (丸数字)	知	思	主	備考
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■教科書の単元の扉ページの内容を聞いて、単元の概要を把握する。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) 1分間チャット</p> <p>③扉ページの写真を見て、英問英答 (Picture Describing)しながら、考えを伝え合う。</p> <p>④単元全体の概要を聞き、物語を推測する。</p> <p>⑤教科書の本文を読み、分詞の後置修飾の構造と働きを理解する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を理解するとともに、第7・8時で行うパフォーマンステストについて説明し、単元の見通しをもたせる。 ・本市では、各単元の扉のページを活用して、物語全体の内容を推測させ、写真で考えを伝え合う活動を行っている。 ・毎時間振り返りは行うが、記録に残す評価は行わない。言語活動での中間指導は適宜行い、単元末のパフォーマンステストで評価する。
2	<p>■現在分詞の後置修飾の役割を推測しながら音読し、物語の概要を把握する。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) Picture Describing</p> <p>③教科書の登場人物の気持ちになりきって音読し、自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>④現在分詞の後置修飾の構造と働きを確認する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・Picture Describingでは単なる写真の描写で終わらず、以下のような関連質問を行う。Look at the man listening to music. Do you like listening to music?等 ・③では、手を捻ってピアノが演奏できなくなった絵里に If you were Hajin, what would you say?のように尋ねる。
3	<p>■自分の紹介したい物について、過去分詞の後置修飾を用いて詳しく説明する。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) 1分間チャット</p> <p>③教科書を音読して、物語の概要を把握する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・④言語活動の例 I'm going to talk about my favorite book. This is a novel written by Higashino Keigo. Have

	④教科書の分詞の後置修飾を想起させながら、自分のおすすめの物を友だちに紹介し、自分の考えや気持ちを伝え合う。				you ever read a novel written by him?
4	<p>■教科書の対話を読んで、行間を読みながら文を加筆・修正する。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) 1分間チャット</p> <p>③教科書を音読した後、加筆したい場所や対話の不自然な箇所をペアで話し合い、自分の考えや気持ちを書く。</p> <p>④ペアで意見を共有した後、全体でシェアし、言えなかった表現などを拾い、フィードバックを行う。</p>				<p>(加筆・修正の例)</p> <p>Eri: You look strange. Aren't you happy?</p> <p>Tina: I am, but I also have bad news. I have to leave Japan, but <u>I don't want to. We might not be able to meet anymore...</u></p> <p>※下線部が加筆</p>
5	<p>■間接疑問文の役割や働きを意識しながら、自分の興味のあることをペアで伝え合い、やり取りを行う。</p> <p>※必要に応じて次の単元の疑問詞＋不定詞の用法を確認する。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) 1分間チャット</p> <p>③間接疑問文を用いて、自分の興味のあることを紹介し、考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>④ペアでやり取りした後、中間指導を行い、異なるペアで意見交流を行う。</p> <p>⑤教師と代表生徒がやり取りし、内容面・言語面の価値付けを行う。</p>				<p>(言語活動の例)</p> <p>・ Guess my hobby! My hobby is reading novels. Recently, I have been reading this novel. <u>This novel written by Higashino Keigo is very interesting.</u> Do you know who he is? He is a famous author who makes many mystery novels.</p> <p>※下線部は第3時の内容</p>
6 本 時	<p>■ALTからのビデオメッセージを視聴し、興味のあることに合わせて、自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>①帯活動(1) 個人スピーチ</p> <p>②帯活動(2) 1分間チャット</p> <p>③ALTからのビデオメッセージを視聴する。</p> <p>④ALTの興味や質問に合わせて、アドバイスやおすすめを紹介し合う。</p> <p>⑤学級で意見を共有し、代表の生徒とALTがやり取りした後、再度生徒同士でやり取りを行い、内容面・言語面の価値付けを行う。</p>				<p>・言語活動は基本的に、T-T, T-S, S-S, 中間指導, S-S, S-Tの流れを全学年で統一している。</p> <p>・⑤の場面では、代表生徒(ファシリテーター)と教師がやり取りを行い、全体で内容面と言語面の表現の共有を行う。他生徒は相づちや関連質問などを行う。</p>
7	<p>■パフォーマンステストを行い、単元の中で学習した表現や既習の言語材料を使って、やり取りすることができるかを取り、評価する。</p> <p>【条件①】マイクの興味・関心に合わせて、おすすめを紹介する。</p>	○	○	○	<p>・評価規準は、事項「話すこと【やり取り】」参照のこと。</p>
8	<p>【条件②】ビデオメッセージのセリフを引用しながら、説得力をもたせて紹介する。</p> <p>【条件③】ALTからの質問に3往復以上のやり取りを行う。</p>				

第7・8時のパフォーマンステスト「話すこと【やり取り】」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾や間接疑問文の特徴やきまりを理解している。 ALTの興味のあることや質問に合わせて、既習の言語材料を用いて、自分の考えや気持ちを適切に伝え合う技能を身に付けている。 	<p>3つの条件に従い、ALTの興味のあることに沿って、自分の考えや感じたことを理由とともに伝え合っている。</p>	<p>3つの条件に従い、ALTの興味のあることに沿って、自分の考えや感じたことを理由とともに伝え合おうとしている。</p>

6. 本時の学習 令和3年12月6日(月) 第5校時 リーディングルーム

(1) 本時の目標 日本文化や自然などに興味のあるALTの先生に、お互いの考えや気持ちを伝え合う活動を通して、即興的なやり取りができる。

(2) 準備 教師…教科書・パソコン・プロジェクター・タイマー
 生徒…教科書・ラボノート(家庭学習帳)・ファイル・ワーク

(3) 展開

主な学習活動	○指導・支援上の留意点
<p>1 授業の雰囲気づくりを行う。</p> <p>2 個人スピーチを行う。 【個人スピーチの例】 S1: Hello. Let me introduce my favorite movie. Do you know Toy Story? Ss: Yes! /No! / I don't know him.等 (終了後、質問をしながらやり取り) S2: Do you think your toys can move in your room in the real world? S1: I wish they could. But, I don't know. S3: Which episode do you like the best? S1: I like Toy Story the best because I like "Forky." S3: What phrase do you like the best in that movie?</p>	<p>○ 音楽と同時に生徒を起立させ、ペアで2.5秒間10個のリアクション表現を交互に言い合う。</p> <p>○ 発表生徒は「自分の好きなことや興味のあること」等について、学級の生徒とやり取りを行う。例には、関連質問の例を挙げているが、質問する生徒とスピーチをする生徒が二往復以上のやり取りを行う。</p> <p>○ 原稿は準備せず、スピーチの指導は一切行わない。また、記録に残す評価は行わず、教師は内容面・言語面双方から価値付けを行う。生徒が表現したいができないものについては、中間指導で共有し、「マイクラ表現」に書き溜め、次の言語活動につなげる。 ※左の個人スピーチは、実際に生徒が行ったもの</p>
<p>3 1分間チャットを行う。 【1分チャットの例】 A: Do you agree or disagree with studying abroad? B: I disagree with studying abroad. A: Why do you think so? B: It's because I can study at home. AI Technology has made great progress lately. So I can use translation software when I communicate with foreigners.</p>	<p>○ ALTとJTEのやり取りの後、与えられたテーマについて、ジェスチャーや相づち、質問しながら1分間対話を行う。(T⇔T, T→SS, S⇔S) T: 教師, S: 生徒</p> <p>○ 机間指導を行いながら、言えなかった表現や質問などの中間指導を行い、学級全体で共有する。その後、異なるペアでもう一度やり取りを行う。なお、共有した語彙や表現は、ホワイトボード【内容面】に記述する。 <中間指導で予想される例> ・ I wish I could live in foreign countries, but it's a little dangerous.</p>

<p>A : Really? I don't think so. I don't want to depend on AI too much. I want to communicate by myself. It's important.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • We can get a valuable experience. • You can look up things you don't know.
<p>【めあて】 ALTの先生の興味のあることや質問に合わせて、アドバイスやおすすめをしよう。</p>	
<p>4 ALTの先生からのビデオメッセージを視聴する。</p> <p>5 ペアで意見交流を行う。 ○ ペアを変えながら、最低2往復以上の即興的なやり取りを行う。 【予想される意見交流の例】</p>	<p>○ ALTの先生からのビデオメッセージを視聴した後、生徒に内容を確認する。 (質問例)</p> <ul style="list-style-type: none"> • What is he interested in? • What does she like to do? <p>○ ALTとJTEのやり取りを聞いた後、数人の生徒を指名し、ALTとやり取りを行う。(T⇔T, T→SS, S⇔S)</p> <p>○ 話し手は問いかけをしながら自分の考えを伝え、聞き手は相づちをうったり、関連質問をしたりする。</p>
<p>A : Daniel said, "I'm interested in traveling, so I want to know where to go." so I will recommend Kyoto to him. Have you ever been there? This is a famous temple visited by many foreigners. Its name is "Kiyomizu" temple.</p> <p>B : I know! I wanted to go there, 「でもコロナで行けなかった」</p> <p>A : How about you?</p> <p>B : Ceara said, "I want to visit Fukuoka." So I recommend "Tsubamenomori hiroba." It is on the top of the building called "Hakata Hankyu." She can enjoy shopping there, and buy nice gifts for her friends.</p>	<p>○ 机間指導を行いながら、言えなかった表現や質問などを拾って中間指導を行う。その後、異なるペアで再度やり取りを行う。 <中間指導で予想される例></p> <ul style="list-style-type: none"> • I couldn't go there because of Covid. • You can see a great view from the top.
<p>6 本時の活動について、全体でやり取りを共有する。 【ファシリテーターの発言例】</p>	<p>○ ファシリテーター役の生徒が自分の意見を述べ、内容や表現の共有を行う。なお、ファシリテーターとやり取りをする以外の生徒も、相づちや関連質問等を行う。</p>
<p>A : Mike said, "I like nature. Please tell me where to go." So I recommend Itoshima for him. It has a nice café, a big playground, a waterfall and so on. I suppose he can enjoy there.</p> <p>SS: Yes! / That's nice!</p> <p>ALT:Have you ever been there?</p> <p>A : Yes, I have. I went there last year. How about you?</p> <p>ALT:No,I haven't. Please tell me what we can do there.</p>	

7 選んだ ALT の先生に、アドバイスをす
る英文を作成する。

○ 様々な意見を聞いた後、自分の考えと比べながら、ALT
の先生へアドバイスを文章を書く。

7. 板書計画（黒板）

スクリーン	Enjoy making mistakes and have fun!!		
	Monday, December sixth		
	ALT の先生の興味や質問に合わせて、アドバイスやお勧めをしよう。		
	ALT① Mike	ALT② Daniele	ALT③ Kyle
	food	anime	nature
	famous places	gifts	culture
			What Who When Where Which Why How

板書計画（ホワイトボード）

マイクラ表現	内容面
誰/何がは どうする 誰/何を/に どのように	
※言語活動の中間指導で出たものを全体でシェアし、生徒の手持ち資料「マイクラ表現」に書き留める。	言語活動の中間指導で出たものを全体でシェアする。場合によっては、全文を書くのではなく、キーワードを記述し、生徒の表現内容が偏らないよう留意する。

ご指導宜しくお願い致します。